

# 指導と評価の年間計画(現代の国語)

岐阜県立土岐紅陵高等学校

科目	現代の国語		学年	1	指導クラス	1・2・3組			
単位数	2	使用教科書	現代の国語 (第一学習社)		副教材・問題集等		新編現代の国語 学習課題集 (第一学習社)		

## 1. 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 2. 評価の観点の趣旨

知識・技能(技術) a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

## 3. 指導及び評価計画

月	指導の領域 指導時間		単元名	指導項目(単元目標)	主な言語活動	評価の場面・方法	評価の観点			教材名
	話聞	書読					a	b	c	
4		3	評論 筆者の具体的な体験を通して筆者のとらえ方を理解し、自分の考えを深める。	【思・判・表】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握し、自分自身の考えや事柄を表現する。	評論文を読んで、論理的文章には欠かすことができない具体例と筆者の主張についてまとめる。	行動観察 ワークシート	○ ○	○	○	「未知」はいくらでもある
		3		【思・判・表】 文章を読み、自分の考えを根拠と共に論述することができる。	筆者の「未知」に対する考え方に触れ、「未知」に対する考え方についてまとめさせ発表する。	行動観察 課題点検 発表	○ ○	○ ○	○ ○	
5		3	評論 本文が対比関係によって分析・考察されていることに着目し、自分自身の話している言語に対する意識的な態度を持つ。	【思・判・表】 文章や図表に含まれている情報を相互に関係づけながら内容や書き手の意図を解釈する方法を学ぶ。	生活の中で目にしてしている言語記号や表記に対してより意識的な態度を持つ。	行動観察 ワークシート 課題点検 発表	○ ○	○	○	言語としてのピクトグラム
		4		【思・判・表】 本文のテーマに沿って実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集し、伝え合う内容を検討する。	ピクトグラムの性質を確認したうえで、実社会で活躍すると期待される作品を作成し、発表する。	行動観察 課題点検 発表	○ ○	○ ○	○ ○	

6	3	評論 問題提起から始まり、序論・本論・結論という文章を書く際の構成を確実に学ぶ。	【思・判・表】 文章を読み、自分の意見や考えを論述する方法を学ぶ。 【知・技】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	筆者の体験に基づく随筆的な文章を読む中で、筆者自身の体験を体験し、自己を相対化する視点を獲得することができる。	行動観察 ワークシート	○ ○	○	○	十六歳のとき
	3		【思・判・表】 話の構成や論理展開、表現の仕方を評価するとともに聞き取った情報を整理し自分の考えを深める。	評論文を読んで、生徒自身が人生を振り返り、自己の体験における様々な出会いについて言語化する。	行動観察 ワークシート 発表	○ ○	○ ○	○ ○	
	1	定期考査				○	○		
7	3	評論 ロボットがもつ弱さを自分自身に照らし合わせ、自分自身も自己完結したのではなく、弱さがあり他者との協働が大切であることを理解する。	【思・判・表】 文章の内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。	自身の社会生活における身近な題材を扱う評論文を読むことで論理的思考力を高めながら、他者とのかかわりを考え、自己を見つめる。	行動観察 ワークシート	○ ○	○	○	「弱いロボット」の誕生
	3		【思・判・表】 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。	現在の生活の中でロボットとのかかわりを一つ挙げ、これからのかかわり方について自分の意見をまとめる。	行動観察 ワークシート	○ ○	○	○	
8 9	4	評論 仕事の本質を理解し、自分自身が社会に出たときをイメージをさせる。	【思・判・表】 自分の考えが的確に伝わるように自分の立場や考えを明確にし、話の構成や展開を工夫する。 【知・技】 主張と論拠、個別と一般化など情報と情報の関係を理解する。	筆者が述べる仕事の本質について考察し、社会に出たときに他者と協働するという視点を持つことができるように意見交流をする。	行動観察 ワークシート	○ ○	○	○	人はなぜ仕事をするのか
	3		【思・判・表】 目的や意図に応じて実社会の中から適切な話題を決め、妥当性と信頼性を吟味する。	なぜ仕事をするものの本質について考察し、他者や社会との協働が大切だということを理解する。	行動観察 ワークシート	○ ○	○	○	
	2	評論 ある事柄に関して書かれた複数の文章を読み、必要な情報を読み取り関連付けて理解し、	【思・判・表】 複数の文章を読み、理解したことをまとめる。 【知・技】 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方を理解し、活用する。	改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連付けながら理解したことをまとめる。	行動観察 ワークシート 発表	○ ○	○ ○	○ ○	法律の改正にかかわる文章を読み比べる

		2	自分の考えを深める。	【思・判・表】 文章に含まれる情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。	法律文章における独特の構成について理解し、複数の文章の情報を関連付けながら理解することができる	行動観察 ワークシート	○ ○	○	○		
10	3	3	3	評論 現代社会を成り立たせる地球資源について理解し、本文に示された未来像について関心を深める。	【思・判・表】 目的や意図に応じて書かれているかなどを確認かめて文章全体を整える。  【思・判・表】 資料や機器を効果的に活用し、相手の理解が得られるように表現を工夫する。	イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系の在り方について考察し、まとめる  イースター島のたどった悲劇とSDGsの活動を関連付けて自分たちの生活に照らし合わせ、これからの生活をどうするか発表する。	行動観察 ワークシート	○ ○	○	○	イースター島になぜ森がないのか
							行動観察 ワークシート 発表	○ ○	○ ○	○ ○	
11	4			言語活動 読み手にとって必要な情報は何か考えその情報をわかりやすく的確に説明する力を高める。	【思・判・表】 目的や意図に応じて適切な題材を決め、情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝える内容を明確にする。 【知・技】 文章の効果的な組み立て方や接続のしかたを理解する。	表記、表現の基本的なルールを理解し、書き方の基礎に対する自分自身の課題に気づき、活動を通して解決する。	行動観察 ワークシート 発表	○ ○	○ ○	○ ○	身近な製品の取り扱い説明書を作成する
		3			【思・判・表】 本文のテーマに沿って実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集し、伝え合う内容を検討する。	生徒の身近なものを取り扱い、誰もが共通のイメージを持つことができるように表現を工夫する。	行動観察 ワークシート 発表	○ ○	○ ○	○ ○	
12	1		定期考査					○	○		
		3	評論 序論・本論・結論が独立しているわけではなく、対応関係にあることを理解する	【思・判・表】 論理的な文章や実用的な文章を読み、その文章に関して要約したり、批評したりすることができる。	材料科学の革新が人類の進歩に大きく寄与したことを理解することができる。	行動観察 ワークシート	○ ○	○	○	「材料科学」のゆくえ	
			3	【思・判・表】 内容や構成、論理展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ	現在の環境問題と自分自身の生活を照らし合わせ、人間を含めた生態系について考えさせる。	行動観察 ワークシート 発表	○ ○	○ ○	○ ○		

1		2	評論 文章中に書かれた情報 どうしがどのような関係にあるのか注目しながら論理構造をとらえ、論理的な考え方を学ぶ。	【思・判・表】 事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する仕方を学ぶ。 【知・技】 情報と情報との関係を理解する。	評論文を読んで 具体と抽象の関係になっているところをまとめ、 文意を正確に捉える。	行動観察 ワークシート	○ ○	○	○	日本語は世界をこのように捉える
		3		【思・判・表】 本文のテーマに沿って 実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集し、 伝え合う内容を検討する。	具体と抽象をうまく活用し、自己の主張を他者に適切に伝える。	行動観察 ワークシート 発表	○ ○	○ ○	○ ○	
2		3	評論 推論という型の文章の特徴や効果、用途などを学び、教材を通して哲学の根幹に切実な内部的問いがあることを理解する。	【思・判・表】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉えることができる。	ある事実や根拠を前提として未知の事柄を推しはかり、結論を導くことができる。	行動観察 ワークシート 発表	○ ○	○ ○	○ ○	AIは哲学で きるか
		2		【思・判・表】 事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する	二つの仮説として示された人工知能による哲学研究の内容を把握する。	行動観察 ワークシート	○ ○	○	○	
3		1	学年末考査				○	○		
指導 時数	話	書	読	【現代の国語】2単位で実施する場合						
	20			30	20	話すこと・聞くこと	20～30単位時間程度	書くこと	30～40単位時間程度	読むこと
		70		(※実施単位数に応じて領域ごとの時間数を増やすこと)						